

丹波市オリジナル
ボードゲーム

「TMK」完成！

TMKは、すぐろくで丹波市を探検しながらアイテムを集め、ミッションクリアのためのプランをつくるゲームです。マップ上のマスには、その地域特有の「丹波市あるある」のアイテムが割り当てられています。時間内に丹波市を巡り、アイテムを集め（最大5個）、それらを活用してミッションを解決するためのプランを作成し、プレゼンテーション形式で発表をします。

T 丹波 M 魅力 K 課題

T 丹波を M 巡って K 考える

T 丹波に M まく K 気づきの種

TMKの当て字は決めています。ゲームをプレイした人たちが自由に考えてみてください。

TMKは、「コミュニケーション（伝え合うこと）」、「リフレーミング（視点を変えること）」、「シェアリング（共有すること）」の3つの能力を培うことを特にした学習教材です。

遊ぶ
字ばう

夏休み



丹波市教育委員会広報

教育たんば 7月号

制作の想い

「高校生が創る丹波の未来への架け橋プロジェクト」のメンバーやボードゲーム検討会のメンバーが中心となって話し合い、中学生が地域資源や地域課題を把握し、地域の将来を自分事としてとらえ、自らの行動を変えるきっかけとするために制作しました。

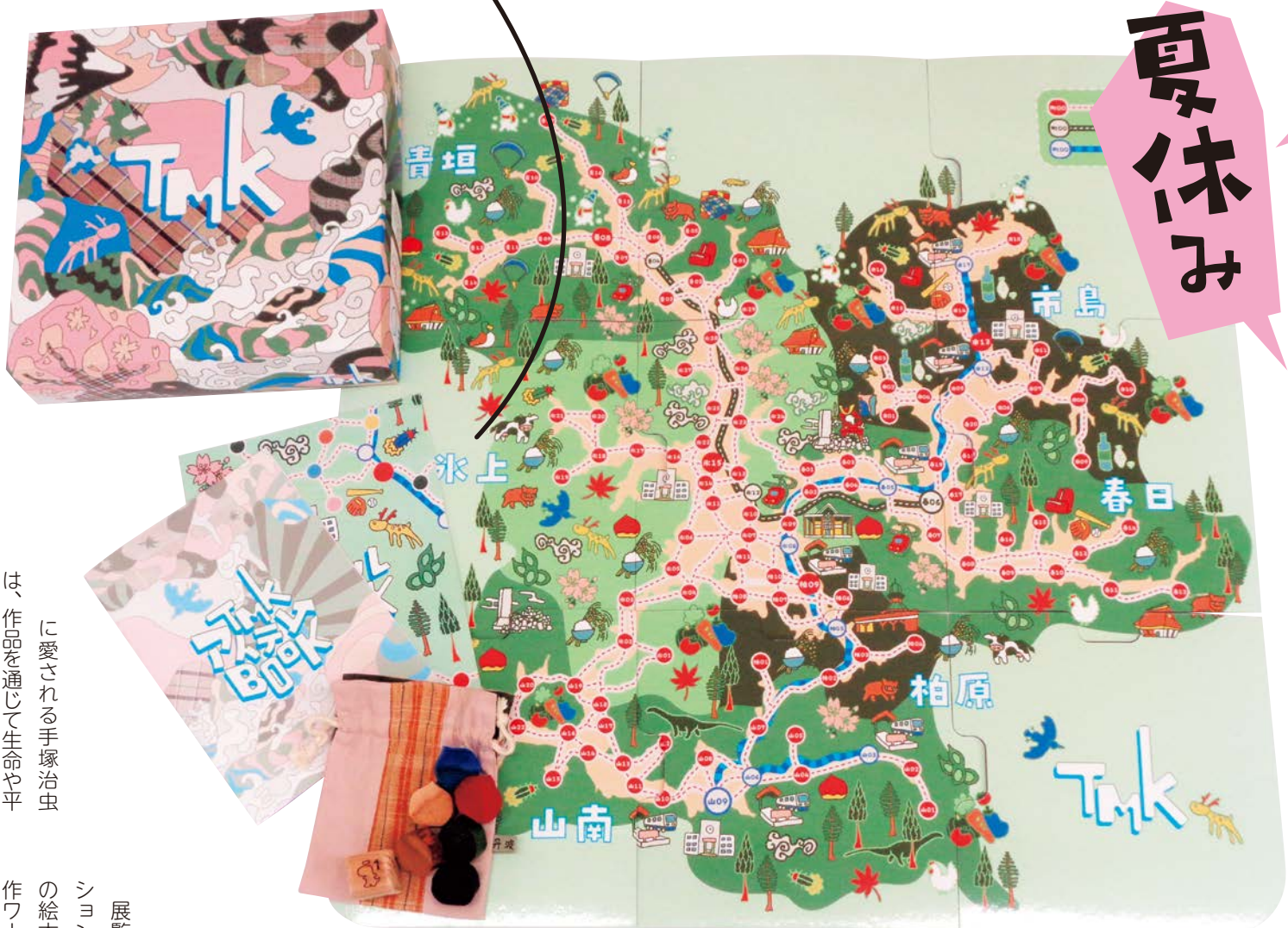
ゲームに使用するアイテムの「丹波市あるある」の情報提供やイラストは市民の皆様協力いただき制作することができました。

丹波市について知っているつもりでも意外とまだまだ知らない部分があるのかもしれない。知っていることが増える、いつもの世界がちよっとだけ違って見えるかもしれない。TMKを通して自分とは違う考え方があることを知り、視点を変えて考えてみると、いろいろな発見があります。そのような「気づき」も楽しんでください。

丹波市内中学2年生全クラス、住民センター等に設置予定です。



丹波市オリジナルボードゲーム「TMK」上の植野記念美術館マス



に愛される手塚治虫は、作品を通じて生命や平和そして環境へのメッセージを伝えてきた兵庫県ゆかりのマンガ家・アニメーターです。

展示会の期間中には、手塚プロダクションによる講演会や、丹波市ゆかりの絵本作家・村上祐喜子さんによるワークショップを開催します。展示会や関連イベントを通じて、手塚治虫の作品の魅力や、マンガやアニメの制作過程をお楽しみください。

丹波市立植野記念美術館
開館30周年！

平成6年11月に開館した植野記念美術館は、本年30周年を迎えます。

当館の創設者・植野藤次郎さんは丹波市（旧・氷上郡）氷上町出身の実業家で、「毛皮のエンバ」で知られるシャパンエンバグループの創設者です。植野さんは17歳の時に仕事のため台湾を訪れて以降、世界各地への出張を重ね、「我等は地球丸の乗組員」であるという考えに至ります。

郷里の人々が美術や文化を通じて世界の人々と交流を深めていくことを願い、植野さんは生まれ育った丹波の地に美術館を創設したのです。

「地域のため、地域の人のため、そして地域の子どもたちのため」という植野さんの思いを大切にし、当館は夏休みの時期には、子どもたちから大人まで広く楽しめる展示会を主に開催してきました。

開館30周年を迎える今年の夏休みの展示会では、「開館30周年記念 手塚治虫展」【会期：令和6年7月27日（土）～同9月29日（日）】を開催します。「マンガの神様」として今なお多くの人の



「第11回コミックコンベンション」ポスター用直筆原稿
©手塚プロダクション

問合せ先 丹波市立植野記念美術館

TEL：0795-82-5945 FAX：0795-82-5935
〒669-3603 丹波市氷上町西中615番地4

ueno-kinen@city.tamba.lg.jp



問合せ先

丹波市教育委員会 社会教育・文化財課

TEL：0795-70-0819 FAX：0795-70-0814
〒669-3198 丹波市山南町谷川1110番地

ボードゲーム「TMK」

詳細はこちら→



丹波竜化石工房「ちーたんの館」が生まれ変わります。 リニューアル前、最後の夏期特別展を見逃すな！

「これまでの歩み」と 「リニューアル」に向けて

丹波竜化石工房は、丹波竜が平成18年に発見されたのを機に平成19年に化石のクリーニング作業等のため設置されました。

平成22年にはクリーニング作業に加え展示や体験学習を充実させ、篠山層群に関する情報発信施設として現在の丹波竜化石工房「ちーたんの館」をオープンし、丹波竜が伝える丹波市の「自然」「歴史」「環境」「教育」「観光」を未来へと継承することを目指した活動を行ってきました。

丹波竜の発見から約20年が経過する令和7年に、丹波竜化石工房はリニューアルオープンを予定しており、これまでの篠山層群産恐竜化石の情報発信施設から、広く丹波の地質や化石を伝え、地域住民への理解や誇りを育む生涯学習施設として生まれ変わる予定です。

問合せ先 丹波市教育委員会 恐竜課
TEL：0795-77-1887 FAX：0795-77-0891
〒669-3198 兵庫県丹波市山南町谷川11110番地

教育普及への取り組み

丹波竜化石工房は、夏期特別展の終了をもってリニューアルオープンに向け休館となりますが、恐竜や古生物、地域の地質に関する教育普及には引き続き取り組む予定としており、市内の小中学校を対象に教育普及専門員が「学習プログラム」として出前学習や発見現場の解説を実施したり、一般の方を対象としたセミナーやワークショップも毎月開催しています。

※セミナー・ワークショップの詳細や申込についてはHPをご覧ください。

丹波竜化石工房HP
<https://www.tambaryu.com/>
丹波竜化石工房X
@Tambaryu0807



丹波市制20周年記念 2024夏期特別展

BIGs

～丹波竜と竜脚類の進化～

期間

7/20 (土)

9/23 (月・祝)



夏期特別展

「BIGs ～丹波竜と竜脚類の進化～」について

リニューアルオープン前、最後の特別展となる今年の夏期特別展では、長い首と尻尾、大きな身体を持つのが特徴で、世界最大級の恐竜だと言われている「竜脚類」をテーマに「BIGs ～丹波竜と竜脚類の進化～」を実施します。丹波竜も竜脚類であり、全長は10数メートルと竜脚類の中では大きくはない方ですが、それでも日本最大級だと言われています。そんな丹波竜がどのように見つかри、どのような特徴から新属・新種だと分かったのかを他の竜脚類と比べながら、竜脚類という大きな者たち（BIGs）の起源や巨大化の秘密を辿ります。



動く恐竜も来るよ！

9月24日以降はリニューアル工事のため休館となります。令和7年7月リニューアルオープン予定です。

9/1まで

たんばし電子図書館を知っていますか？

丹波市立図書館は、図書館に来館しなくても読書を楽しめる方法を提供するために、令和4年10月から「たんばし電子図書館」のサービスを始めました。

電子図書館は、お持ちのパソコン・スマートフォン・タブレット端末からいつでもどこでも利用することができます。

本を借りに行く、返しに行くといった手間もありません。

これまでの紙の本にはその良さがあリ、電子図書館には紙の本にはない便利な点があります。利用者の方にどちら楽しんでいただけることを願っています。



旅行先でスマートフォンでガイドブックをみることで、きて便利でした。



こんな機能があります

- 文字の大きさを変更することができたり、音声で読み上げてくれる機能がついた本があります。
- 自動でページをめくったり、しおりやメモ機能がついた本があります。
- 期限がくると自動で返却されるため、返し忘れの心配がありません。

利用できる人は？

- 丹波市内に在住・在勤・在学の方で、丹波市立図書館の利用者カードをお持ちの方です。
- 利用者カードの有効期限が切れている場合は利用できませんので、お近くの図書館で更新手続きを行ってください。更新された翌日から利用することができます。

利用のルール

- 【貸出冊数】 2点まで
- 【貸出期間】 14日間
- 【延長回数】 1回（予約がない場合）
- 【予約取り置き期間】 用意できた日の翌日から7日間
- ※取り置き期間が過ぎると自動でキャンセルされます。

問合せ先 丹波市立中央図書館
TEL：0795-82-7100 FAX：0795-82-7200
〒669-3602 丹波市氷上町常楽233番地

たんばし電子図書館

